

仕 様 書

品 名 FP-7F-15 No. 0810522-01

図番 S-0811657 字 核 1 会表担格

2 定格電流 1A

3 定格電圧 AC 150V (実行値)

4 公称インピーダンス 75Ω

5 周波数範囲 2700 MHz以下 6 使用温度範囲 -40°Cから+85°C

7 使用相対湿度 85%以下



1 項目 条件(JIS C 5402) 規格 1 外観及び構造 4.1及び42による。ただし、3/8-32UNEFの ねじは、FED-STD-H28を適用する。 図番S-0811657 2 3 造 材料 材料は、JIS C 5410の8.3.1によるほか 図番S-0811657 図番S-0811657 8 大 位上げ 仕上げは、JIS C 5410の8.3.2によるほか 図番S-0811657 図番S-0811657 5 表示 効印は FP-7F-15とする。 図番S-0811657 6 総縁抵抗 5.2による。 a)試験電圧500V d.c. ±50V d.c. b)結合とないコネクタの中心コンタクトと外部導体間とする。 5000MΩ以上 7 耐電圧 5.1による。 a)試験電圧500V a.c.(実効値) 電圧印加個所は結合しないコネクタの中心コンタクト担互間でないことを分かは方面間がないこと サルコンタクト担互間がないこと 8 気 低電圧定電流下の接触抵抗 あの以下 9 低電圧定電流での接触技術を対力が出互間ではなどよスのシェルとメスのシェルとメスのシェルとメスのシェルとテスのシェル。 ウェーブルの外部導体先端とジェル ケーブルとブラグ間が同の外の以下 9 電圧定在波比 (VSWR) 周波数範囲 0.3MHzから2600MHz 1.3以下 10 機 互換性 規格に準ずるコネクターと結合したとき 異常な会能合すること報方向接続ナットが外れたり異常な変形がないこと 回転方向接続ナットが外れたり異常な変形がないこと 回転方向 接続ナットが外れたり異常な変形がないこと 回転方向 接続ナットが外れたり 異常な変形がないこと				007021	TO-CONNE CO.,LTD.	
おしは、FED-STD-H28を適用する。 2			項目	条 件 (JIS C 5402)	規格	
2 構 形状及び寸法 結合部寸法は図番 S-0811657による。 図番 S-0811657 3 造 材料 材料は、JIS C 5410の8.3.1によるほか 図番 S-0811657 4 状 仕上げ 仕上げは、JIS C 5410の8.3.2によるほか 図番 S-0811657 5 表示 刻印は FP-7F-15とする。 図番 S-0811657 6 総縁抵抗 5.2による。 a)試験電圧500V dc. ±50V dc. b)結合しないコネクタの中心コンタクトと外部導体間 5000M Ω 以上 7 電電 耐電圧 5.1による。 試験電圧500V ac.(実効値) 電圧印加個所は結合しないコネクタの中心コンタクトと外部導体間とする。 せん絡及び絶縁破壊がないこととのコンタクト相互間オスのシェルとメスのシェルとメスのシェルとメスのシェルとメスのシェルとプラグ間よる。a)中心コンタクト相互間オスのシェルとメスのシェルとプラグ間長さ20cmのケーブルの外部導体先端とシェルとプラグ間しかの Q 以下 9 電圧定在波比(VSWR)周波数範囲の3MHzから2600MHzリカにときを持合することを持合的接続サットが外れたりながないことの対域を対象を対したときまな表による。 引張り力:294N 1.3以下 10 機器が強度を持合部接続強度を持合させ、シェル相互間にの48N・mのトルクを加える。 株長による。 引張り力:294N 東常なく結合することを表表による。 引張り力:294N	1		外観及び構造	4.1及び4.2による。ただし、3/8-32UNEFの	図番 S-0811657	
2 お状及い寸法 結合部寸法は図番 S-081165/による。 図番 S-081165/による。 図番 S-0811657 4 材料 材料は、JIS C 5410の8.3.1によるほか 図番 S-0811657 図番 S-0811657 4 状 仕上げ 仕上げは、JIS C 5410の8.3.2によるほか 図番 S-0811657 5 表示 刻印は FP-7F-15とする。 図番 S-0811657 6 総縁抵抗 5.2による。				ねじは、FED-STD-H28を適用する。		
下	2	備 	形状及び寸法	結合部寸法は図番 S-0811657による。	図番 S-0811657	
4 状 仕上げ 仕上げは、JIS C 5410の8.3.2によるほか 図番 S-0811657 5 表示 刻印は FP-F-15とする。 図番 S-0811657 6 絶縁抵抗 5.2による。 a)試験電圧500V d.c. ±50V d.c. b)結合しないコネクタの中心コンタクトと外部導体間 5000MΩ以上 7 耐電圧 5.1による。 i試験電圧500V a.c.(実効値)電圧印加個所は結合はないコネクタの中心コンタクトと外部導体間とする。 せん絡及び絶縁破壊がないことのコンタクトと外部導体間とする。 8 気 低電圧定電流下の接触抵抗 5.4による。 測定電流の種類は直流とし、測定個所は次による。 a)中心コンタクト相互間カスのシェルとメスのシェルとプラグト間を表記とプラント相互間を表記をプラントをプラグト相互間を変化のケーブルとブラグ間を表記をプラントをプラグ間を表記をプラントをプラグ間を表記をプラントをプラグ間を表記をプラグを表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を	3	造	材料	材料は、JIS C 5410の8.3.1によるほか	図番 S-0811657	
大		形		図番 S-0811657による。		
図番 S-0811657による。 図番 S-0811657 表示 刻印は FP-7F-15とする。 図番 S-0811657 総縁抵抗 5.2による。 a)試験電圧500V d.c.±50V d.c. b)結合しないコネクタの中心コンタクトと外部導体間 世ん絡及び絶縁破壊がないこと かっコンタクトと外部導体間とする。 世ん絡及び絶縁破壊がないこと 中心コンタクトと外部導体間とする。 中心コンタクト相互間 方スのシェルとメスのシェルとメスのシェルとメスのシェルとプラグ間 長さ20cmのケーブルとプラグ間 長さ20cmのケーブルの外部導体先端と ケーブルとプラグ間 10mΩ以下 10 機 類格に準ずるコネクターと結合したとき 異常なく結合すること 諸合部接続強度 株合部接続強度 株合部接続強度 大ス結合部とメス結合部を結合させ、シェル 相互間に0.49N・mのトルクを加える。 回転方向 接続ナットが外れたり 日転方向 接続ナットが外れたり 日転方向 接続ナットが外れたり 日転方向 接続ナットが外れたり 日転方向 接続ナットが外れたり 日本の上の 日本の上の	4	壮	仕上げ	仕上げは、JIS C 5410の8.3.2によるほか	図番 S-0811657	
6 絶縁抵抗 5.2による。 a)試験電圧500V d.c.±50V d.c. b)結合しないコネクタの中心コンタクト と外部導体間 5000MΩ以上 7 耐電圧 5.1による。 試験電圧500V a.c.(実効値)電圧印加個所は結合しないコネクタの中心コンタクトと外部導体間とする。 せん絡及び絶縁破壊がないこと のカールコンタクトと外部導体間とする。 8 気 低電圧定電流下の接触抵抗 カールコンタクトと外部導体間とする。 9 技術と表し、測定個所は次による。 のまたしたフラクト担互間カスのシェルとメスのシェルとグラクト担互間カスのシェルとブラグ間長さ20cmのケーブルの外部導体先端とシェル のウーブルとブラグ間長さ20cmのケーブルの外部導体先端とシェル のシェルとブラグ間のの以下 ケーブルとブラグ間 10mΩ以下 9 電圧定在波比(VSWR) 周波数範囲 0.3MHzから2600MHz 1.3以下 10 機構に準ずるコネクターと結合したとき期方向接続ナットが外れたり異常な変形がないことを引張り力:294N 東常なく結合することを持続ナットが外れたり接続ナットが外れたり接続ナットが外れたり接続ナットが外れたり接続ナットが外れたりまったと表したとの可能力のは表しました。 11 本ス結合部とメス結合部を結合させ、シェル相互間に0.49N・mのトルクを加える。 接続ナットが外れたり				図番 S-0811657による。		
a)試験電圧500V d.c.±50V d.c. b)結合しないコネクタの中心コンタクト と外部導体間 7 耐電圧	5		表示	刻印は FP-7F-15とする。	図番 S-0811657	
試験電圧500V a.c.(実効値) 電圧印加個所は結合しないコネクタの中心コンタクトと外部導体間とする。	6		絶縁抵抗	a)試験電圧500V d.c.±50V d.c. b)結合しないコネクタの中心コンタクト	5000MΩ以上	
接触抵抗 技験抵抗 大スによる。 測定電流の種類は直流とし、測定個所は 次による。 割中心コンタクト相互間 オスのシェルとメスのシェル c)ケーブルとプラグ間 長さ20cmのケーブルの外部導体先端と シェル (VSWR) 周波数範囲 0.3MHzから2600MHz 現格に準ずるコネクターと結合したとき 異常なく結合すること 相合部接続強度 相方向 接続ナットが外れたり 異常な変形がないこと 回転方向 技続ナットが外れたり 大ス結合部とメス結合部を結合させ、シェル 相互間に0.49N・mのトルクを加える。 接続ナットが外れたり 接続ナットが外れたり 接続ナットが外れたり 大ス結合部とメス結合部を結合させ、シェル 相互間に0.49N・mのトルクを加える。 接続ナットが外れたり 日本が	7	電	耐電圧	試験電圧500V a.c.(実効値) 電圧印加個所は結合しないコネクタの		
特 接触抵抗 測定電流の種類は直流とし、測定個所は次による。 a)中心コンタクト相互間オス中心コンタクトとメス中心コンタクト相互間オスのシェルとメスのシェル。 か部コンタクト相互間カスのシェルとプラグ間長さ20cmのケーブルの外部導体先端とシェル ケーブルとプラグ間長さ20cmのケーブルの外部導体先端とシェル 「クーブルとプラグ間のの以下 電圧定在波比(VSWR) 周波数範囲 0.3MHzから2600MHz 現格に準ずるコネクターと結合したとき 異常なく結合すること 接続ナットが外れたり関常な変形がないこと ロ転方向接続サットが外れたり関常な変形がないこと ロ転方向接続サットが外れたり関本な変形がないこと ロ転方向接続サットが外れたり関本な変形がないこと ロ転方向接続サットが外れたり	8	気	低電圧定電流下の	5 AI- + Z	中心コンタクト相互間	
オス中心コンタクトとメス中心コンタクト間		的	接触抵抗	測定電流の種類は直流とし、測定個所は 次による。	5mΩ以下	
性b)外部コンタクト相互間 オスのシェルとプラグ間 長さ20cmのケーブルの外部導体先端と シェル5mΩ以下9電圧定在波比 (VSWR)5.6による。 周波数範囲 0.3MHzから2600MHz1.3以下10 機 10 機 村 村 村 村 大 村 大 村 性互換性 結合部接続強度 (8.8による。 引張り力:294N異常な〈結合すること 事方向 接続ナットが外れたり 異常な変形がないこと 回転方向 接続ナットが外れたり 異常な変形がないこと		特			外部コンタクト相互間	
9電圧定在波比 (VSWR)5.6による。 周波数範囲 0.3MHzから2600MHz1.3以下10 間 がとフラク目 10mΩ以下互換性 規格に準ずるコネクターと結合したとき 場合部接続強度規格に準ずるコネクターと結合したとき 軸方向 接続ナットが外れたり 異常な変形がないこと軸方向 接続ナットが外れたり 異常な変形がないこと11 財 性 性オス結合部とメス結合部を結合させ、シェル 相互間に0.49N・mのトルクを加える。回転方向 接続ナットが外れたり		性		b)外部コンタクト相互間 オスのシェルとメスのシェル	5mΩ以下	
10mΩ以下 10mΩ以下 10mΩ以下 1.3以下 1.3以下					ケーブル とプラグ間	
(VSWR)周波数範囲 0.3MHzから2600MHz10 11 機 村 				J±10	10mΩ以下	
10 機 互換性 規格に準ずるコネクターと結合したとき 異常なく結合すること 11 結合部接続強度 軸方向 接続ナットが外れたり 的特性 オス結合部とメス結合部を結合させ、シェル相互間に0.49N・mのトルクを加える。 接続ナットが外れたり	9		電圧定在波比	5.6による。	1.3以下	
11 機 結合部接続強度 軸方向 6.8による。 引張り力:294N 接続ナットが外れたり 異常な変形がないこと 回転方向 オス結合部とメス結合部を結合させ、シェル 相互間に0.49N・mのトルクを加える。 接続ナットが外れたり			(VSWR)	周波数範囲 0.3MHzから2600MHz		
11	10	機	互換性	規格に準ずるコネクターと結合したとき	異常なく結合すること	
引張り力:294N 接続アットが外れたり	11		結合部接続強度	C 01 7	軸方向	
特		栿 			接続ナットが外れたり	
オス結合部とメス結合部を結合させ、シェル 大ス結合部とメス結合部を結合させ、シェル 接続ナットが外れたり 相互間に0.49N・mのトルクを加える。		的			異常な変形がないこと	
		特		ナフは入却しまっは入却をは入させ、ショル	回転方向	
					接続ナットが外れたり	
					異常な変形がないこと	

仕 様 書

品 名 FP-7F-15 No. 0810522-01

	項目		条件	規格
12	機械	ケーブルクランプ 部の引張強度	6.29による。(JIS C 5402) プラグをケーブルに通常使用する方法で 取り付けた後ケーブルとプラグ間に0.294 N·mのトルクを加える。 引張りカ:245N	軸方向 ケーブルがプラグから 外れないこと
13	的特性	繰り返し動作	6.3による。(JIS C 5402) オスコネクタとメスコネクタを接続構造を 含めた状態で結合・離脱を繰り返す。 a)動作回数 500回 b)試験速度 毎分12回以下	接触抵抗 中心コンタクト間10mΩ以下 外部導体間10mΩ以下
14		接続ナット締付トルク	1~2N•m	異常のないこと
15		適合ケーブル	7C-FB、S-7C-FB	

	変更履歴	日付
1	電圧定在波比 (VSWR) 0.3MHzから2600MHz 1.2以下 → 0.3MHzから2600MHz 1.3以下	2005. 05. 09
2	社名変更	2012. 02. 07
3	互換性・接続ナット締付トルク・適合ケーブル 追記	2019. 12. 16

確認	承 認	検 印	作 成
E	Ē	檜	黨
19.12.16	19.12.16	19.12.16	19.12.16
村	*	澤	原
			OVOM 7

GKQM-7

